

要旨集 訂正・追加

要旨集 59 ページ、シンポジウム 2 の概要がシンポジウム 1 の概要に置き換わっております。シンポジウム 2 の概要は以下のとおりです。

概要

従来の生薬エキスの活性研究は、活性化合物の同定による創薬シーズ探索、あるいは漢方方剤の作用機作の説明、を目的とするところが大きかった。しかし「生薬のエキス製剤の製造販売承認申請に係るガイダンスについて（平成 27 年薬生審査発 1225 第 6 号）」が発出され、生薬単味エキスが医薬品となる道筋が整備され、公定書収載の生薬において、長年の使用経験とともに、現代科学的な有効性・安全性に関するエビデンスを基礎研究と臨床研究で得ることによって、和漢薬エキスを新しい一般用医薬品として世に出すことが可能になった。生薬関連の医薬品業界が俄かに活気づいている。

本シンポジウムでは、植物性医薬品の開発に携わっている研究者が集結し、「日本における植物性医薬品の開発と規制」、「FDA に承認された実績を持つ茶カテキンの開発と今後の展望」、「ヨーロッパでの植物性医薬品の動向と日本市場への展開」、「新しい植物性医薬品開発に向けたアカデミアでの研究成果」について講演する。

日本発の医薬品を生み出しうる和漢薬研究の新しい出口戦略や課題について、議論と考察を深めるシンポジウムとしたい。

要旨集 164 ページ、協賛一覧に記載漏れがありました。協賛を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

アサヒグループホールディングス株式会社
小林製薬株式会社

また、個人の方からもご支援を賜っております。厚くお礼申し上げます。

東京理科大学の磯濱洋一郎先生のお名前に誤りがございました。お詫びを申し上げます。